

# 2024 年度 神戸市外国語大学

## 学校推薦型選抜・社会人特別選抜 入学試験問題【小論文】

以下の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

スマホがないと、その人の世界は崩壊する。私たちの 4 割は、一日中スマホがないよりは声が出なくなる方がましだと思っている（本当にそうなのだ）。どこにいても——街中やカフェ、レストラン、バスの中、夕食のテーブル、おまけにジムにいても、見回すと誰もが自分のスマホをじっと見つめている。それがいいか悪いかは別として、依存してしまっているのだ。スマホのスクリーンは、いかにしてこの世を墮落させたのか。それを理解するために、再び脳の中を覗いてみよう。

### ドーパミンの役割

脳内の伝達物質をひとつ選んで本を書くなら、ドーパミンをお勧めする。どうしてスマホがこれほど魅惑的な存在になったのか、その理由を知りたい場合にも悪くないテーマだ。ドーパミンはよく報酬物質と呼ばれるが、実はそれだけではない。ドーパミンの最も重要な役目は私たちが元気にすることではなく、何に集中するかを選択させることだ。つまり、人間の原動力とも言える。

(中略)

### 脳は常に新しいもの好き

進化の観点から見れば、人間が知識を渴望するのは不思議なことではない。周囲をより深く知ること、生存の可能性が高まるからだ。天候の変化がライオンの行動にどう影響するのか。カモシカがいちばん注意散漫になる状況は？ それがあれば狩りを成功させられる確率が増し、猛獣の餌食になるのも避けられる。

周囲の環境を理解するほど、生き延びられる可能性が高まる——その結果、自然は人間に、新しい情報を探そうとする本能を与えた。この本能の裏にある脳内物質は何だろうか。もうおわかりだろう。そう、ドーパミンだ。新しいことを学ぶと脳はドーパミンを放出する。それだけではない。ドーパミンのおかげで人間はもっと詳しく学びたいと思うのだ。

脳は単に新しい情報だけを欲しいわけではない。新しい環境や出来事といったニュースも欲しがらる。脳には新しいことだけに反応してドーパミンを産生する細胞があり、よく知るもの、たとえば「自分の家の前の道」といったものには反応しない。ところが、知らない顔のような新しいものを見ると、その細胞が一気に作動する。感情的になるようなものを見た場合も同じだ。

新しい情報、例えば**新しい環境**を渴望するドーパミン産生細胞が存在する、ということは、新しい情報を得ると脳は報酬をもらえるわけだ。人間は新しいもの、未知のものを探しにいきたいという衝動がしっかり組み込まれた状態で生まれてくる。「新しい場所に行ってみたい」「新しい人に会ってみたい」「新しいことを体験してみたい」という欲求だ。私たちの祖先が生きたのは、食料や資源が常に不足していた世界である。この欲求が、新たな可能性を求めて移動するよう、人間を突き動かしてきたのだろう。

数十万年分時間を巻き戻して、食べ物の入手という永遠の課題に挑んでいる女性が 2 人いるとしよう。

## 2024 年度 神戸市外国語大学

### 学校推薦型選抜・社会人特別選抜 入学試験問題【小論文】

片方には新しいもの——新しい場所や環境——を探したいという衝動があり、もう片方にはない。前者の方が食べ物を見つけられる可能性は高いだろう。移動すればするほど、食べ物が見つかる確率は高くなるのだから。

今度は、あなたや私が生きる時代まで早送りしてみよう。脳は基本的に昔と同じままで、新しいものへの欲求も残っている。しかし、それが単に新しい場所を見たいという以上の意味をもつようになった。それはパソコンやスマホが運んでくる、新しい知識や情報への欲求だ。パソコンやスマホのページをめくると、脳がドーパミンを放出し、その結果、私たちはクリックが大好きになる。しかも実は、今読んでいるページよりも**次のページ**に夢中になっているのだ。インターネット上のページの5分の1に、私たちは時間にして4秒以下しか留まっていない。10分以上時間をかけるページは、わずか4%だ。

新しい情報を得ると——それがニュースサイトだろうと、メールやSNSだろうと同じことなのだが——脳の報酬システムが、私たちの祖先が新しい場所や環境を見つけたときと同じように作動する。見返りを欲する**報酬探索**行動と、情報を欲する**情報探索**行動は脳内で密接した関係で、実際にはそのふたつを見分けられない場合もあるほどだ。

アンデシュ・ハンセン (2020) 『スマホ脳』新潮社、69-74 頁より抜粋

Skärmhjärnan by Anders Hansen

Copyright © Anders Hansen, 2019

Published by agreement with Salomonsson Agency, Stockholm through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

※出題に際して表記を変更した箇所がある。

**設問** スマホ依存とドーパミンとの関係について、以上の文章をもとにまとめ、そのうえでなぜスマホ依存が問題なのか、具体的な事例を挙げてあなたの考えを 800 字以内で述べなさい。